

「金沢の都心に望まれる交通とまちづくり」

ディベート討論会

自動車優先派

- ・金沢、七尾、高岡などにおいて5社の社長、役員を勤める。
- ・1日平均 100km を車で走行、県外出張以外はほとんど車が移動手段。
- ・石川県にUターンする以前は、京都、東京に住んでおり、そのときは公共交通派であった。



(リーダー) 北原良彦

- ・看板、塑像等の制作を家族経営で行うかたわら彫刻家のひよことして活躍。(日展入賞3回、日影展奨励賞、現代美術展北国賞など受賞)
- ・辰巳丘高校時代は、香林坊で乗り換え1時間以上かけてバス通学。
- ・金沢美術工芸大学入学後、運転免許を取得し車通学。
- ・現在は、看板設置などの仕事から車は手放せない。



清水潤子

- ・長町で旅館を経営するかたわら、長町公民館副館長、町会連合会の副会長、民生委員、金沢市旅館協同組合の副理事長などの多くの役職をこなす。
- ・金沢の観光客や長町居住者のニーズに詳しい。



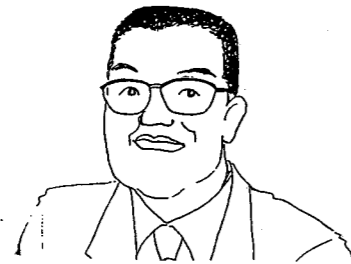
中野成昭

- ・金沢都市開発株式会社(アトリオ)事業部長。
- ・金沢中心商店街まちづくり協議会事務局長。
- ・店舗・経営者や買い物客のニーズに詳しい。



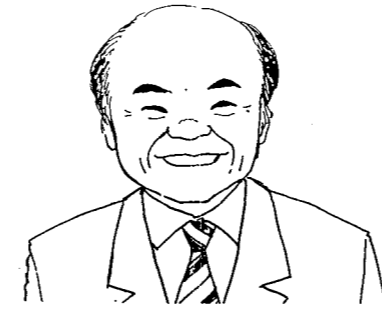
山本隆文

- ・生駒シービー・リチャードエリス株式会社金沢出張所勤務。
- ・転勤により平成11年から金沢市に居住。以前は千葉、福岡などに住む。
- ・不動産、特に業務ビルの斡旋を手がける。
- ・会社関係のニーズに詳しい。



松岡克典

コーディネーター



高山純
K. CATフォーラム実行委員会代表
金沢大学工学部教授

V

S

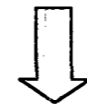
ディベートの流れ

先攻

一、現況とどう見るか

後攻

<20分>

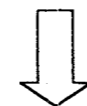


後攻

二、市民ニーズ

先攻

<20分>



先攻

三、施策と効果

後攻

<50分>

フロア意見交換

バス優先派

(リーダー) 青海万里子



- ・金沢市民芸術村エコライフ工房ディレクター。石川生協理事。
- ・どんぐりこども造形教室主宰。こども達と工作をつくるのが本業。
- ・神奈川県生まれ。金沢美大入学をきっかけに金沢に住み続ける。
- ・郊外への移動には車を使うが、街なかではもっぱらバスと自転車を利用。
- ・地球温暖化防止には「歩ける街づくり」が有効と考えている。

義浦慶子



- ・神戸出身で石川県在住6年、現在金沢大学大学院2年生。
- ・大学で交通工学を専攻し、「明日の金沢の交通を考える市民会議」の一員。
- ・大学1年の時、自転車で松任から大学まで通学。
- ・自転車事故で被害者となった後、自分でも車を購入し運転する。
- ・大学生の車利用の実態に詳しい。

橋寿子



- ・長町に居住し、現在は専業主婦であるが3月まではバスを利用し通勤していた。
- ・市内の路線バス時刻表を持ち、外出はもっぱらバス頼り。
- ・只今、公民館活動、婦人会活動を通してたくさんの方々とふれあい、地域社会の勉強中。

三国千秋



- ・車の免許をもたず、もっぱらバスを利用する北陸大学教授。
- ・石川環境ネットワークに所属。
- ・ドイツの交通と中心市街地活性化に非常に関心がある。

加藤哲也



- ・雪が積もらないかぎり、金沢市内はどこでも自転車だけでかける泉ヶ丘高校2年生。
- ・金沢市の郊外に住み、40分かけて高校へ自転車通学。
- ・「明日の金沢の交通を考える市民会議」にも参加し、交通問題に興味がある。